

■安然 学僧。天台宗の密教化を成し遂げ、日本独自の草木成仏の思想を確立、五十音図の原型をも発明した大学者。

あんねん

・・・・・・ 841= この頃、近江国に生まれる。最澄とは親族の関係であったとされる。

承和の変・・ 842= 1歳：

早くから比叡山に上り、

円仁帰国・・ 847= 6歳：この年、円仁が苦難の末帰国

比叡山に戻った円仁に可愛がられ、サンスクリット語や漢文なども直接教えられたようである。

文徳天皇即位 850= 9歳：

この間、円仁が請来した「蘇悉地掲羅經」をもとに「蘇悉地掲羅經略疏」を著す。

人民摂政の実 853=17歳：

・・・・・・ 859=18歳：この頃、受戒。

・・・・・・ 863=22歳：即身成仏論争を円仁が解決したこの年の法華会后まもなく、「即身成仏義私記」をまとめ、

富士山噴火・ 864=23歳：円仁が没したため、以後、遍昭を師とする。安恵が第4代座主になる。

応天門の変・ 866=25歳：

草木成仏を否定する安恵との問答で説得できなかったことが契機になって、

・・・・・・ 868=27歳：安恵が入滅後、

貞観格成立・ 869=28歳：貞観の大地震が起きる。この年の法華会后まもなく、「斟定草木成仏私記」を著し、

・・・・・・ 877=36歳：藤原高子の発願で遍昭によって元慶寺が創建された年、3人の僧とともに、入唐すべく大宰府に向かうも、唐の仏教弾圧のため断念、入唐への思いを、より深い学問へと求め、この頃から、\*盛んに師匠を訪ねて密教の伝授を受け、教判の問題を論じる「教時諍」「教時諍論」を著す一方、原典への理解を進めるべく、インド・中国・日本の悉曇学の書物を可能な限り渉猟、それらの目録「真言八家秘録」をまとめた上で、

基経太政大臣 880=39歳：\*わが国梵語論の原点になる「悉曇藏」という画期的な書物を書き上げ、同時に日本語の性質も究明して、五十音図の原型となる“アイウエオ”の並び方をも発明するに至る(現存する最古の五十音図は100年後)。また、“四一教判”理論と真如を核にすることによって、独自の本覚思想を生み出した主著「教時問答」はじめ、元慶寺の(出家する年分度者に密教を教える)伝法大阿闍梨に任ぜられると、さまざまな師匠から受けた密教の儀礼を集大成した「胎藏界大法対受記」「金剛界大法対受記」、

・・・・・・ 885=44歳：\*「菩提心義抄」など、大部の著作が続いた。そのほか、

・・・・・・ 886=45歳：

道真藏人頭・ 891=50歳：この年、授戒と僧侶の規律を定めるべく努めてきた円珍が、成し遂げることができずに没してしまったことを埋めるべく、その後、「普通授菩薩戒広釈」を編纂するが、それから数十年の内に、天台における一般的戒律観となったという。

遣唐使廃止・ 894=53歳：この年、菅原道真の建議により、遣唐使が廃止される。

・・・・・・ 895=54歳：

菅原道真左遷 901=60歳：

荘園整理令初 902=61歳：804年以来、入唐求法した天台・真言の入唐八家(最澄、空海、常暁、円行、円仁、恵運、円珍、宗叡の遣唐学僧)が請来した密教関係書物の目録はそれぞれに作成されていたが、これらを集大成して、総目録となる膨大な「諸阿闍梨真言密教部類総録」もまとめてなど、時代を代表する大学者になって、

・・・・・・ 904=63歳：

・・・・・・ 913=72歳：

・・・・・・ 915=74歳：この頃、没した。